

第43回

旭川北高等学校同窓会

旭川市中・市高 北高同窓会

思い出のハミングが、

今日、

絆

というハーモニー

になる。

忘れていたわけではないけれど
卒業以来、胸に埋もれていた。
あの日に言えなかったこと、
今なら言える。
今なら聞ける。

2008.8.9 SAT 18:00～

旭川グランドホテル

3階 グランドホール
(旭川市6条通9丁目)



校 歌

mf 明るく普通の速さで

あたらしいきぶんか一のはな
のさんらんとやがてかほらむみ
づき一よくやま一むらさきにめ
ぐりーたるまなびのにはよ
ふるるよろこびいざてをとりてや
むなきあゆみにまことをとめむ

校 歌

木村五一 作詞
津田甫 作曲

一、

あたら
新しき文化の華の
燐爛とやがて薰らむ
水清く山紫に
めぐりたる学びの庭よ
溢れる歡喜いざ手を把りて
止むなき向上に真理を尋めむ

二、

たくま
逞しき腕の力は
遠つ代の祖に受けたり
汗あゆるその勤労の
成せる郷土豊けき穰
とこしへ榮行くこの世に生きて
止むなき教養清純を讃めむ

三、

かぐはしき緑の夕
白瑠の樹水咲く朝
眉秀で魂澄む子等が
まどろして誉を謳ふ
見よ見よ祖国の前途は
止むなき希望に光明を添へむ

思い出のハミングが、
今日、**絆**というハーモニーになる。

CONTENTS

同窓会長あいさつ	1
学校長あいさつ	2
平成19年度会務決算報告	3
同窓会規約	4
札幌・東京・岩手同窓会から	5
恩師から	7
オリンピック出場おめでとう	12
旭川で活躍する卒業生	13
惜念 英語科閉科	17
同窓生から	21
今春の進路状況	23
部活動報告	24
同窓会役員および幹事	28
実行委員長あいさつ	30
次期当番期あいさつ	30



Graduates' association

北海道旭川北高等学校同窓会長
西館 勝友 (13期)

同窓会総会、 賑やかにやりましょ！

今年も同窓の絆と当番期の皆さん
のお蔭で総会が開催出来ます。

昨年は東京同窓会の開催される年
で多勢が参加させて頂き御世話にな
りました。安来節に合わせどじょう
すくいを踊る方、千の風を歌う人、
大変な賑わいでした。札幌同窓会は
例年の倍くらいの参加で、両総会で
は本当に感動して参りました。お世
話になりました両同窓会の皆さんに
心からお礼申しあげます。

さて旭川ですが、昨年十月のキャ
リア教育では弁護士の八重樫さん(北
十八期)に御出演をお願いして、一
く二年生の皆さんに弁護士になつた
経緯や仕事の内容を存分に話して頂
きました。二月には、昭和四十五年
二学科新設の英語科が平成十三年に
一学科になり本年閉科になりました。

三月の卒業式には大変淋しい想いを
し乍ら最後の卒業生を送りました。
七月五・六日は学校祭で例年通り同
窓会もテントを出しました。今年は
当番期の皆さんにも二日間御手伝い
を頂きました。例年通り同窓の皆さ
んから寄贈頂いた品々の売りあげを、
校長先生を通じ生徒会に支援させて
頂きます。二日間暑い中御手伝い頂
いた同期や当番期の皆さんに厚く御
礼申しあげます。

また、この学校祭にて野球部父母
の会から聞いて早速署名をしました
が、野球部の久保田圭祐君が脳脊髄
液減少症と云う特異な病気と闘つて
いると云う事です。保険の適用が受
けられる様に署名活動をされていま
す。是非同窓会でも署名活動を展開
したいと思いますのでどうか皆さん

の御協力よろしくお願ひ致します。
先日の役員会の中で平成二十二年
が北高創立七〇周年の年になる事で
周年行事等の議案が出て参りました。
この総会以降準備委員会をスター
トしたいと思います。先輩の皆さん
にも北高の歴史を伺わせてもらわな
いと、私共の世代でも分らない所ば
かりであります。準備委員会に参加
して頂く方に御相談させて頂きます
ので、この事も何卒よろしくお願ひ
致します。今年も御多忙の中、学校
長、教頭先生皆さんに御参会頂き感
謝申しあげます。又遠方から河原東
京同窓会長や中島札幌同窓会長始め
役員の皆様に賑々しく御参会賜わり
ます事にも心から御礼申しあげます。



Graduates' association

北海道旭川北高等学校長

牧野 篤

北高の不易と流行

旭川北高は平成十八年度から単位制に移行し、今年の三年次生が単位制の最初の卒業生となります。移行と同時に英語科の生徒募集を停止し、平成十九年度の英語科三十六回生が

最後の卒業生となりました。北高はこうして、平成二十年度から名実共に六間口の単位制普通高校として歩み始めています。

北高の場合、それは生徒と教師の良好な関係だと私は考えています。それは教え・教えられる者どうしの信頼感が生み出す相乗効果とも言えるものです。

校長室に平成十年に市中四期生から寄贈された『嗚呼懐かしき青春の日々』という卒業五十周年記念誌が置いてあります。劈頭八頁にわたり当時の様子を伝える写真が載っています。劈頭八頁にわたり、その中の入学記念写真は、初代水田登校長とともに一学級五十六人

- 2 -

と「流行」の二語で表すことがあります。二年後に創立七十年を迎える本校には、昭和十五年の市中設立以来連綿と続く校風が息づいています。この言い古された「校風」という言葉の表すものの中に「不易」があり、

変化を主体的に受け止め、変わらざるものとの関係を咀嚼しつつ、将来の成果へ繋げる姿勢を、「不易」と「流行」の二語で表すことがあります。二年後に創立七十年を迎える本校には、昭和十五年の市中設立以来連綿と続く校風が息づいています。この言い古された「校風」という言葉の表すものの中に「不易」があり、

北高の場合は、生徒が護国神社を背に撮つたものです。昭和十八年の戦時中ですから、生徒全員が坊主頭で、国民服を着て写っています。援農や勤労動員に明け暮れ、授業も満足に行わなかった、しかも軍事教練が正科

の時代のこと。蛮カラな青春の日々を活写した体験記に、今は亡き恩師の話が幾つも出てきます。

昨年九月末、東京同窓会に出席させていただきました。百二十名を超える出席者全員が歌あり踊りありの会を心から楽しみ、そこにも恩師の姿がありました。旭川に戻つて間もなく、東京同窓会の浜崎泰子副会長からスナップが送付されました。旭川の盛況を留めた三葉は私の宝となつています。

今も昔も変わらぬ師弟の良き関係をこれからも北高の不易とすべく、教育活動を進めてまいります。同窓会の皆様の変わらぬご支援をお願いいたします。

GRADUATES'ASSOCIATION

会務・会計報告

平成19年度会務報告

20年1月26日												19年4月9日													
7月7・8日	6月23日	8月11日	7月7・8日	6月23日	8月11日	7月7・8日	6月23日	8月11日	7月7・8日	6月23日	8月11日	7月7・8日	6月23日	8月11日	7月7・8日	6月23日	8月11日	7月7・8日	6月23日	8月11日	7月7・8日	6月23日	8月11日		
● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	
8月9日	6月21日	6月17日	4月18日	4月8日	3月1日	2月29日	1月26日	12月15日	9月22日	10月6日	10月16日	10月30日	12月1日	9月21日	9月22日	10月6日	10月16日	10月30日	12月1日	9月21日	9月22日	10月6日	10月16日	10月30日	
● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	● ● ●	
第43回同窓会総会（旭川グランドホテル）	第4回役員会（旭川グランドホテル）	会計監査	ボスター・チケット配布	旭川グランドホテル	（東海林会計部長、山本・土肥監査、西館会長、遠藤総務部長）	（東海林会計部長、山本・土肥監査、西館会長、遠藤総務部長）	役員・幹事長会議	第2回役員会（旭川グランドホテル）	東京同窓会（西館会長ほか4名出席）	第1回役員会（旭川グランドホテル）	「キャリア教育」（旭川北高講師八重樫副会長）	札幌同窓会（西館会長ほか3名出席）	入学案内	当番期引継会	役員・幹事長会議（旭川グランドホテル）	第4回役員会（学校祭対応）	北高校祭（同窓会露店参加）	第42回同窓会総会（旭川グランドホテル）	ゴルフコンペ・学校祭収益金贈呈	北高入学式	19年4月9日	4月17日	6月23日	8月11日	
ゴルフコンペ・学校祭収益金贈呈	ゴルフコンペ・学校祭収益金贈呈																								

旭川北高同窓会平成19年度一般会計決算書

◎収入の部

(単位：円)

区分	予算額	決算額	比較増減	摘要	要
1 緑 越 金	110,806	110,806	0		
2 同 窓 会 費	1,160,000	1,155,000	▲ 5,000		
1 入 会 金	494,000	492,000	▲ 2,000	246名×2,000円	
2 終 身 会 費	666,000	663,000	▲ 3,000	221名×3,000円	
3 雑 収 入	394	100,744	100,350	特別会計より100,000円、利子744円	
合 計	1,271,200	1,366,550	95,350		

◎支出の部

(単位：円)

区分	予算額	決算額	比較増減	摘要	要
1 総 務 費	1,004,000	1,073,070	69,070		
(1)事 務 費	20,000	16,820	▲ 3,180	消耗品、事務用品費	
(2)会 議 費	250,000	269,655	19,655	役員会・幹事長会等開催費	
(3)通 信 費	30,000	39,875	9,875	切手、はがき、電話代	
(4)印 刷 費	20,000	20,000	0	会議開催案内状等印刷費	
(5)慶弔費	20,000	28,500	8,500	喪典、生花、弔電	
(6)支部活動費	300,000	385,000	85,000	札幌、東京同窓会出席旅費、活動助成金	
(7)学校事務費	20,000	0	▲ 20,000	学校事務局謝礼	
(8)後 援 会 費	144,000	144,000	0	学校後援会費（10口）	
(9)卒業記念品費	150,000	119,220	▲ 30,780	卒業生記念品	
(10)後援事業費	20,000	20,000	0	学校祭協力費	
(11)雑 支 出	30,000	30,000	0	後援会参加諸経費	
2 文 化 費	255,000	254,200	▲ 800	ノースウインド第15号印刷費、活動費	
3 予 備 費	12,200	10,000	▲ 2,200	キャリア教育	
合 計	1,271,200	1,337,270	66,070		

◎支出決算

(単位：円)

収入額	支出額	残高
1,366,550	1,337,270	29,280

残額29,280円は次年度へ繰越

◎平成19年度 特別会計決算書

(単位：円)

収 入 の 部	支 出 の 部	残 金
第42回総会準備金返還	300,000	第43回総会準備金貸付
北高8期御祝儀(37名)	370,000	御招待者(北高8期生)会費
貯金利子(定額・通常)	8,287	一般会計へ
前 年 度 緑 越 金	606,183	記念品代(ネクタイピン)
合 計	1,284,470	合 計
		591,320 (次年度へ 繰り越)

◎同窓会資産

(単位：円)

累 構 額	平成19年度 積立額	合計累構額	摘要	要
9,164,856	678	9,165,354	積立額は通常貯金の利子	

◎同窓会記念事業基金

(単位：円)

累 構 額	平成19年度 積立額	平成19年度 支 出 額	合計累構額	摘要	要
1,639,542	202,403	0	1,841,945	積立額は実行委より 寄付金と通常貯金の利子	

北海道旭川北高等学校

同窓会規約

第1章 総則

第1条 本会は、北海道旭川北高等学校同窓会と称する。

第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、合
わせて北海道旭川北高等学校の健全な
る発展に寄与することをもつて目的と
する。

第3条 本会は、その事務局を北海道旭川市
花咲町3丁目北海道旭川北高等学校に
置く。

第2章 事業

第4条 本会は、その目的達成のため、次の
事業を行つ。

(1) 会員の親睦を図ること。
(2) 会誌及び会員名簿の発行
(3) その他本会の目的を達成するために必
要と認める事業

第3章 会員

第5条 本会は、次の各号に該当する者をも
つて構成する。

(1) 旭川市立中学校卒業者
(2) 旭川市立高等学校卒業者
(3) (4) (5) 各号以外（転・退学した者）で、
本会に入会を希望する者。

第4章 顧問

第6条 本会に顧問を置くことができる。顧
問は、総会において推挙する。

第7条 顧問は、役員会の諮問に応ずるもの
とする。

第6章 総会

第13条 総会は、定期総会及び臨時総会とし、

第5章 役員

議決は出席者の過半数をもつてし、賛
否同数のときは議長これを決す。

定例総会の運営は、各期毎の当番でこ
れにあたる。

臨時総会は、会長が必要と認めたとき
に、役員会の決定をもつて会長これを
招集する。

3 前項の部長、副部長及び委員は、会長
これを委嘱する。

4 部会には、部長1名、副部長若干名、
委員若干名を置く。

5 会員の親睦を図り、文化厚生活動に
関すること。

6 会誌及び会員名簿の発行に関するものと
して、会員の親睦を図ること。

7 会員の親睦を図り、文化厚生活動に
関すること。

8 会員の親睦を図り、文化厚生活動に
関すること。

9 会員の親睦を図り、文化厚生活動に
関すること。

10 会員の親睦を図り、文化厚生活動に
関すること。

11 会員の親睦を図り、文化厚生活動に
関すること。

12 会員の親睦を図り、文化厚生活動に
関すること。

13 会員の親睦を図り、文化厚生活動に
関すること。

14 会員の親睦を図り、文化厚生活動に
関すること。

15 会員の親睦を図り、文化厚生活動に
関すること。

16 会員の親睦を図り、文化厚生活動に
関すること。

17 会員の親睦を図り、文化厚生活動に
関すること。

18 会員の親睦を図り、文化厚生活動に
関すること。

19 会員の親睦を図り、文化厚生活動に
関すること。

20 会員の親睦を図り、文化厚生活動に
関すること。

21 会員の親睦を図り、文化厚生活動に
関すること。

22 会員の親睦を図り、文化厚生活動に
関すること。

第6章 会計

ア 会員の会計に関する事。

イ 会員の親睦を図り、文化厚生活動に
関すること。

ア 会員の会計に関する事。

札幌・東京・岩手 同窓会から

『素晴らしいわが校歌』



旭川北高校札幌同窓会会長

中 島 尚 俊
(北高十五期)

札幌の繁華街「ススキノ」。最盛期の五千軒よりは減ったが、今でも三千五百軒の飲食店がある。

その中に“赤と黒”という、一風変わったスナックがある。五十歳代の夫婦がやっている、十二・三人で一杯になる店である。その店の売りは、全国の高校の校歌の楽譜が全て揃っていること。リクエストするとマスターのエレクトーンの伴奏で校歌を唄うことが出来る。NHKのBS2で全国に紹介された店である。店に顔を出す度に北高の校歌を唄う。四十年前にタイムスリップをして、当時の出来事が懐かしく思い出される。

四年前の夏、北高が四十四年振りに甲子園に出場し、札幌から約三十名が猛暑の中子園で声援を送った。二回の北高の攻撃が始まると前に、北高校歌が球場に流れた。残念ながら試合は、岩国高校に敗れ、勝利の校歌を聞くことは出来なかつたが、二回に聞いた校歌の感激は今でも忘れられない。

「旭川北高の校歌は、歌詞が格調高く、メロディーに深みがある」と“赤と黒”的マスターは云う。店で数多くの学校の校歌を聞かせてもらつたが、我が母校の校歌に勝るものを見たことがない。同窓会で、懐かしい友人、先輩、後輩と語らうことは楽しいが、最後に全員で校歌を熱唱することも、大いなる楽しみで

『東京同窓会の現況』



旭川北高校東京同窓会会長

河 原 惟 臣
(北高十期)

東京同窓会にとりまして、今年は二年に一度の開催の狭間の年になります。来年(平成二十一年)春より準備にかかり、秋の開催を迎えると考えているところです。今回は、東京同窓会の過去、現在と将来について報告したいと思います。

東京同窓会の総会は、昭和五十九年、二百五十名の参加により、第一回を開催して以来、来年で第十四回を迎えることが出来ます。

ひとえに、先輩の皆様、同窓生の方々のご指導、ご

ある。

昨年十月三十日、札幌同窓会が開催された。各期の幹事さんが精力的に働きかけていたおかげで、例年を大きく上回る百九十名の同窓生が参加した。特に若い期の方々の出席者も増えてきた。また、三年に一度の名簿作成も滞りなく終了した。

今年は、十月三十一日(金)午後六時より、「すみれホテル」で開催することが決定した。今年は二百名以上の参加を目指して、各期の幹事さんと協力して行きたいと思っている。

協力のお陰と感謝しております。
過去の総会開催月日、会場、参加人数の内、記録の残っているものをまとめますと、

第1回総会 昭和59年10月20日

麹町会館（千代田区平河町）247名

第2回総会 昭和60年10月5日 麹町会館 201名

第3回総会 昭和62年9月5日 麹町会館 218名

第4回総会 平成元年11月11日 麹町会館 160名

第5回総会 平成3年11月9日 麹町会館 231名

第6回総会 平成5年10月16日 麹町会館 231名

第7回総会 平成7年11月18日 ゆうばうと（品川区西五反田）190名

第8回総会 平成9年 ゆうばうと 190名

第9回総会 平成11年6月19日 麹町会館 190名

第10回総会 平成13年6月6日 ゆうばうと 190名

第11回総会 平成15年10月25日 銀座東武ホテル 191名

第12回総会 平成17年10月10日 銀座東武ホテル 142名

第13回総会 平成19年9月22日 銀座東武ホテル 121名

東京同窓会の名簿には、およそ一七〇〇名の会員が登録されておりますが、総会の案内の送付を了承している会員は、およそ七百五十名です。残りは宛先不明で返送されるか、案内は不要とされている会員です。

最近は、参加人数の減少が顕著となってきておりま

す。原因是会員の高齢化と、若い会員の参加が少ないことです。

東京でも、旭川の各高校（商業、工業、東高、西高、北高等）が同窓会を開催しておりますが、西高を除き、ほぼ一〇〇人～二〇〇人の参加ですが、旭川西高だけは毎年三〇〇～四〇〇人が集まり、大盛会だそうです。

何か工夫があるのでしよう。若い人たちが集まりやすい工夫をして、参加することが楽しみになるような会にしていきたいと考えているところです。このことについての同窓各位のご指導、御助言を心からお待ちしております。



旭川北高校岩手同窓会会长
牛 嶋 鎧二
(北高六期)

東京同窓会・同期会に出席する都度、何時のころから、元気で歩けるうちに「修学旅行」のような事を実施したいと云う話題が持ち上がりました。そこで世話を数名で案を検討した結果、一泊二日の予定で京都に行くことに決定し、「京都シリーズ」？と勝手に名付けました。

何故この地になつたかと云うと、観光地古都であることは勿論ですが、「光悦寺」と云う由緒ある寺院に同期生が嫁がれて五十年余りになり、現在も大奥様として大いに活躍されているからです。

その後、昼食は「万龟桜（まんかめ）」と云う、現地では一流の料亭で過ごしましたが、今回の旅の楽しさ・面白さの余りに、人前では殆ど歌うことのない私が、P.Rを兼ね「旭川小唄」を熱唱してしまいました。今後も健康が許す限り、今回のような「〇〇シリーズ」として計画して欲しいものです。

未だに、あの時の感動が忘れられないで居ります。

月はおぼろに東山
霞む夜ごとの かがり火に
祇園恋しや だらりの帶よ

「祇園小唄」



恩師の近況



九組担任・高橋徹先生におかれましては、ご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

昭和五十四年着任、前年完成した新校舎落成記念式典が挙行された。

当時の北高生は個性豊かで、自由奔放に青春を謳歌していた。中には授業中、「こんなことでは自分たちの首を絞めることになるぞ」と注意されると、自分の首をマフラーで締め先生を激怒させた馬鹿者もいた。何故か、此の頃の北高には、似たような生徒が少なからずいたのも記憶している。

あれから三十年、私は六月で古希を迎えた。『人生七十古来稀』（杜甫）とは昔のこととはいえ、脳と肉体の老いは確実に進んでいる。

最初の三年間で搔き筆られた頭髪は、残り僅かというより額との境界線を失つた。人の名前は勿論、固有名詞はほとんどすぐにはでてこない。最近は「あれ」「これ」「それ」の代名詞が妻との日常会話となっている。いまや、ボケの進行を少しでも遅らすことが、焦眉の課題となっている。

1
組



あれから三十年

荒谷 昭夫

子供のころ、父に習った囲碁は唯一の趣味である。週のうち半分以上は碁会所通い、頭の体操とコミュニケーションの場となっている。退職後、パーゴルフを始めた。大雪連峰を見渡す大自然の中でのプレイは寿命が延びる気がする。幸い、大病を患うことなく何となく忙しい毎日を過ごしている。

最近『シッコ』(SICKO) という映画を見た。マイケル・ムーア監督のドキュメント映画である。医療費が払えないというだけで多くの国民が命を落としていく超大国アメリカの医療の実態を赤裸々に告発している。日赤脳外科の上山医師が「日本でもそう遅くない時期に、夜が明けたら公園に死体が転がつて光景を見るだろう」とテレビで訴えていたのを思い出している。四月から「後期高齢者医療制度」なるものが始まった。私も数年後には七十五歳になる。

2組



雑感——思うまことに

島田 康弘

同窓会の招待状をいただき、もうその時期になつたのか、年月の過ぎる早さに驚いています。というのは、前回出席したのが三年前でしたので、一年というのは本当に短いものだと痛感します。それだけある所に近づいているのでしよう。近づいてはいる、退職後は人と接する機会が少ないので、みなさんといろいろ話をしていると忘れていたことが思い出され、若さを貰っているようで元気になります。今回で五回目の参加で、どこかに近づく早さもいくらかおそくなつてゐるのではないかと思つています。先日、山本君から原稿依頼の電話があつた時、クラス全員ではないのですが、何人かの顔が浮かんできました。電話が終わつてあらためてアルバムを見ました。僕の頭の中には、アルバムと同じ顔しか残つていませんが、現在は社会の

中堅として活躍しているみなさんからどのような話を聞かせてもらえるのか、楽しみにしています。

この四月から頻繁に目にしたり、耳に入つてきたりするものの一つに「後期高齢者」というのがあります。まもなくこの仲間入りする者にとって、どうしたことなのか、特に健康保険になつてはいるのか、年寄りによく理解できる資料が欲しいと思つてます。詳しい資料を出すと年金のようにボロが出ては困ると思つてるのでどうか？

もう一つは年寄りマーク？ これは安全確保？と思つて抵抗もなく、つけて走つています。

思うまま、感ずるままに書いてきましたが、最後に幹事各位のご苦労に感謝し、同窓生諸氏のご健康とご多幸を、さらになりますのご活躍を祈念して擱筆とします。

3組



M君の悲しい思い出

帰家 雄治

旭川北高には八雲高校から昭和五十年に異動し六年間お世話になり、皆さんの卒業年次である昭和五十七年に教育行政職に転じました。

その四年後の春、オホーツクの市で高等学校新採用教員の新任研修が行われ、そのひとコマを担当することになりました。

緊張の中にも多くの知識を吸収しようとする受講生の意氣込みがひしひしと伝わつてくる雰囲気の中で、講義では北高時代のホームルーム経営の失敗事例を説明し、将来を大いに期待していると結んで終了しました。

そのとき、会場後方から満面に笑みを浮かべたM君とHさんが「帰家先生！」と駆け寄つて來たのです。他の受講生は驚愕の表情だつたのを今でも鮮明に記憶しています。

突然一人息子を失つたご両親の深い悲しみはいかばかりであつたか、筆舌に尽くしがたいことであつたと思います。

幸いお母さんは、ご自身の専門分野の領域で華々しいご活躍をされているとともに、趣味のカメラでもその力量を存分に發揮されていることを側聞しております。

何か困つたことがあつたら、すぐ連絡して欲しいと告げて講習会場を後にしました。

道東に秋の気配が感じられる頃、新任研修教員の訃報が入りました。胸騒

ぎの中で氏名を確認しましたが、やはりM君でした。

幼少時からの持ち病が誘因だつたようで、前途有為な教え子の新任教員を突然失い茫然自失の念を禁じ得ませんでした。

高校球児であつたM君は、高校野球の指導を夢みていたと思うと胸がかきむしられる思いになり、そつと手洗いに立ちました。

突然一人息子を失つたご両親の深い悲しみはいかばかりであつたか、筆舌に尽くしがたいことであつたと思います。

幸いお母さんは、ご自身の専門分野の領域で華々しいご活躍をされているとともに、趣味のカメラでもその力量を存分に發揮されていことを側聞しております。

いつか機会を見て、あの時の様子等、墓前でお母さんと、じつくり昔話を語り合いたいと念じてはいる今日この頃です。

六月初旬、第四十三回同窓会実行委員長の小川勝也さんが勤務先まで訪ねて来られた。二十六年振りの再会となりました。相変わらずエネルギッシュな雰囲気を醸されており、高校時代の印象と良い意味で変わっておられませんでした。彼曰く「先生は相変わらず尖っていますね」「あまり変わっておられませんね」「私たちが教えを受けた先生で、現役はもう武田先生しかいませんね」。懐かしい時を過ごしました。私の旭川北高勤務は二十九歳から四十歳までの十一年間。多くの先輩と生徒たちに助けられての生活でした。苦しく、辛い思い出はほとんどありません。教師冥利に尽くる年月でした。

現在勤務している札幌清田高校は七校目の学校です。月のうち学校に居られるのは半分位です。いつも「挨拶要員」か「晒し者」になるかのどちらかです。意外と思われる役職は、札幌雪まつり実行委員、北方領土返還期成同盟評議員、北海道優秀映画選定協議会委員などです。確か旭川北の校長は昔、JRA関係か道営競馬の役員を務めて

いた筈です。会議の合い間を縫うように、空き時間や自習になつたクラスに行き授業をしています。また、新聞、雑誌をはじめとして文字・活字に触れる毎日で、「よみ」ながら仕事をしています。

十八年前、転勤の時、当時の五十嵐弘校長が、勤務先を言わず「武田先生は退職されます」と発表しましたので、ざわめきが起こりました。私立高の母校に行くのか、札幌の予備校に行くのか、はたまた馘首されるのか、憶測を瞬ですが呼んだようです。札幌に移り住んで、娘が高校で大井輝男先生と現校長牧野篤先生に英語を習うということもあり、何かの縁を感じます。

六十歳の定年まで残り一年と八ヶ月になりました。何とか教職人生を全うしたいと考えている今日この頃です。

旭川北高では四回、卒業担任をさせていただきました。アルバムをみて懐旧の情に浸りながら、初めて同窓会に参加させていただきます。このような機会を与えていただき有り難うござります。

4組



「相変わらずとがつていますね」と

小川勝也君は評した。

武田克伸

5組



現役時代の検証

後藤隆司

私は赴任して二廻り目、第二次川埜学年で五組を担任しました。後期高齢者予備軍となつた今、当時のことを振り返ると、私の教員生活はこれで良かつたのかという反省がよぎります。私は自由とか自然を好んだ。これは大学の寮時代に体験したこと、農学という実学で作物を育てた経験からくるものです。たっぷりと栄養生長をさせ生殖生长期にはそつとしておくことを人間の舵取りをすることもなく、全く何もせずに見守っていただけでした。幸いにも北高の校風がそうでした。ガツガツした受験体制ではなく、生徒も、能力はあつても受験勉強以外にも人間性の陶冶に価値を見出すものが結構いました。無理な進学競争の結果、コテ先の狭い考え方しかできないエリート、敗け組で社会に害毒を流すものがいかに多いことか、勿論勉強はこの時期の最大の栄養です。能力を最大限に伸ばすことは教育の使命です。要はこの辺の兼ね合いで問題なのです。勉強と同

手間かけしわるの笑顔や卒業期
秋灯下教え子の背に綿暖簾
沙羅の花音なく落つる夕かな
樹氷咲くコタンの川は閉じてをり
娘の描きし絵田扇のあり介護床

時併行的に伸ばさねばならないことがあります。しかし私は今反省しています。もっと迷える羊に方向性を示唆するとか、目的に向かって尻をたたくとかすれば良かつたなどと思うのです。私は良く通知箋の所見欄に「堅忍不拔の精神は目的貫徹の鍵である」という数学者矢野健太郎先生の言葉を書きました。これは私の高校時代参考書の某に書いて励みになつた言葉です。私は北高に停年まで十八年間在職しましたが、良い生徒に恵まれ居心地が良かつたこと、賢明な生徒に教えられることが多かつたことに感謝しております。

此頃老人性鬱病の傾向があり、趣味を増すべく俳句を始めました。出来の良い句を紹介します。



組



考

寺 師 元 彦

旭北高四十三回同窓会の開催され

いました。

ることを心よりお祝いいたします。北海道でG8サミットがおこなわれ身近な環境からよりよい価値のあるものを求める時代になってきたよう思っています。しかし一方では考えられない事件が起き、報道され戸惑いを覚える今日此の頃です。

一方私は流行語の後期高齢者にむかつて毎日極力感情をおさえるよう努力しております。

旭北高に勤務していた時代を回想するとかならず旧校舎、幅広なさきくれ立った板の廊下、天井裏のハトの鳴き声、その後の新校舎がいつも一対の絵のように浮かんできます。生徒同士は現在のメディアにでてくるような没個性、画一化されたひとりぼっちの生徒ではなく、夏休み前の体育祭で体一杯元気よく弾け、秋には学校祭で自分を精一杯表現して



私の近況



横 山 茂

近況とはかなり離れた平成八年から始めます。私は平成八年三月に退職しました。丁度私よりはるかに若い化学の高橋先生が、腸管の血管を超悪性の障害に襲われて入院中でした。新年度にも状況は変わらず欠員とはならないで、私は化学講師として留めおかれるようになりました。苦手な化学のです。生徒になりました。困惑をかけました。

高橋先生は頑張屋で四月二十四日大腸手術の後、回復の兆が見え、一時間私の代りに授業したり、八月三十日の「葡萄屋」での理科教員団の飲み会に出席したりでしたが、結局は大変な病気なのでした。大規模な腸管切除手術も水泡であるかのようになります。

生涯を閉じました。ただちに欠員を生じ私は解放されました。全校生徒は校庭に出て、御子息の胸に抱かれた先生の遺影に永遠のお別れをしました。

校歌の旋律の中を、車は国道四十号線に消えていました。「新しき文化の華の燐爛と」という晴れやかな歌詞に付き添う曲が何故に葬送の情を引き立てるのか不思議でした。

以後、年一度北高誥をしてきました。特に執着があつたわけではありません。次元の低い比較で恐縮ですが、教師と勤務先学校は配偶者、愛人、恋人と似た関係で、緩やかで、同宿の旅人同志の感じがします。

卒業生と学校とは親子のよう抗えぬがらみがあつて、悪いことだけあげれば母校北高は行く度に知っている人が減り數居が高くなりました。平成十六年、近所の卒業生に誘われ同窓会に出ました。それは私が担任した卒業学年の幹事によるものでした。楽しい一夜でした。その年の十月に生活習慣病から脳梗塞になりました。

二ヶ月の入院をし、後遺症にはつきり疊れないと舌と麻痺した左半身が残りました。全く想定外の晩年となりました。さらに平成十八年一月に狭心症となり心臓の動脈にバイパスをする破目となりました。手術が終るのを待つていた妻に肋骨を挽く電動鋸の音が聞えたそ

うです。

術後の苦痛も生半可でなく、「そんなに悪事を働いていないのになんで俺ばかりが」と運命を呪つて性格が悪くなりました。

今年物理準備室に行つたら中年男の本田といふ先生がいました。

本田だけでは分からなかつたけれど丁度準備室にあつた卒業アルバムですぐに思い出しました。北高的野球部が上り調子だつた頃の有力選手でした。野球部は全校応援をしてもらえるし、選手は授業と無関係の先生達にも憶えられて恵まれた存在です。反面、部員も

の担任の持ち方になります。

つまり、担任のなり始めは一年であり彼等が卒業するまでその学年にへばりついていて卒業したら一年休み、また新入生を持ちなおすのです。良いか悪いかは別として生徒を理解し憶えるには適したシステムだと思います。ただし私は頭が悪くどちらもできませんでした。

本田先生と会つたことでこの原稿に苦しむことになりました。先に書いたように、体調具合で欠席するかもしれません。その可能性で無責任な文章になりました。その通りであつたとしても脳梗塞のやつたことだと大目にお許しください。

お礼や謝辞は省かせていただきました。

旭川北高同窓会総会の開催にあたり、お祝いとお喜びを申し上げます。

幹事の第三十二期生の皆さん、卒業して、既に二十六年余の歳月が過ぎ去り驚いています。

振り返りますと、北高は二校目で五十年から三年間は定時制、五十四年から十四年間は全日制で、都合十七年間勤務させていただきました。全日制に異動した年に、一学年の皆さんを担任しましたので、特に印象深いものがあります。

入学した五十四年は新校舎が完成し、また、最初の共通一次試験が、この年三月に実施されました。北高にあっては節目の年でもありました。

手元にある五十九年七月の北高新聞に、三十二期生の四組と八組の進路追跡資料が掲載されています。この年は再度の三年担任でしたので、資料が後輩諸君の刺激となり、活用されたことを思い出しました。

北高では、優れた資質を持ち、可能性を秘めた生徒諸君と出会い、見識豊

かな先生方と共に仕事をすることができ、充実した教員生活でした。ありがとうございます。

幹事の第三十二期生の皆さん、卒業して、既に二十六年余の歳月が過ぎ去り驚いています。

近況ですが、公立高校を十一年三月で定年退職し、その後私立高校に勤め、今年三月に退きました。都合四十七年間の教職生活に終止符を打ち、自由の身となりました。

趣味の渓流釣りには年に数度行きますが、釣果もさることながら自然の中にいるだけで満たされます。

また、昨今高齢者問題がクローズアップされていますが、いつの間にか私も古稀を迎ました。ここ三年、「健康・友愛・奉仕」を活動の基本にしている、地域の「老人クラブ」（自主的な全国的組織）の世話役をしています。

心身とも歳相応を実感する日々です。

如何ともし難いものがありますが、前向きに余生を送りたいと思っています。

同窓生の皆様のますますのご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

高校を退職後横浜に移り住んで目下年金暮らしをしています。住んでるところは横浜から電車で十分ほどのところです。

私自身は七年前に定年で函館東（函館

東京と違つて横浜は都心を離れると結構いなかで、このあたりでは、周りが畑でサトイモやトマトやきゅうりなどの畑が散見される、静かな佇まいです。こちらへ来てからは遊んでいるわけにもいかず、家庭教師に精をだしています。週に五日ほど有名私立の高校生をみています。

昭和四十六年に旭川に赴任してから九年間お世話をなりました。その間何度か担任をもたせていただきたうち今回の当番である三十二回生のことを、アルバムをみて懸命に思い出そうとしています。私も今年で六十七歳、なにやらあの影がしおびよってきましたので、このあります申し訳ない。

英語科十期、最初に持った二期生のころと比べると男子が減つて女子君臨の傾向が強くなつたころではあります、みんなとても穏やかで多少問題もありますが、みたが、総合的には落ち着いた学級だつた記憶があります。

しかし諸君もあのころのわたしの年をこえて、社会の中堅として活躍する年になつたのですね。感慨ひとしおであります。

短気なM君、なおりましたか？K君クラスマート結婚、おめでとう。今回連絡をくれた、後藤君、久保君ありがとうございます。

ひとつ残念だったのは野球部のエース

だつた室城くんの計報です。五十九年に函館に転勤した際に、大学で同期だつた先生から聞いたときはショックでした。

これからまだ先の長い人生、皆がんばつください。

旭川も最近旭山人気でこちらでも有名になりましたね。ツアーや札幌、函館中心だったのが、このごろはすっかり旭川ブームになり、懐かしく思い出しています。私が住んでいた春光町、大町、永山、だいぶ変わったかなあ。

島田先生から、「こらあ、関の一本松！」と檄を飛ばされた頃が懐かしいなあ。あそこは武田先生と私が、ルーキーでしたね。武田先生迷惑してるかな。後藤先生にもすいぶんお世話をなりました。その他たくさんの方、ありがとうございました。

まともりのない便りですが、思いつくままに書いた乱筆ご容赦。

暑さの続く横浜から関本でした。

8組



私の近況

梶田昭一

10組



久しぶりで懐かしい仲間のことが
よみがえっています

関本實

北京五輪 出場おめでとうございます

祝

陸上選手

久保倉里美
(北高五十一期)



•PROFILE•

- 1982年4月27日生まれ
- 旭川市立緑新小学校→旭川市立緑ヶ丘中学校
→北海道旭川北高校→福島大学
→(株)新潟アルビレックスランニングクラブ
- 2006年日本陸上競技選手権大会
400m 優勝
- 2006年ドーハアジア競技大会
400mH 3位
- 2007年出雲陸上競技会
300m 38秒12
日本最高・アジア新記録
- 2007年静岡国際陸上競技会
400mH 55秒71 日本新記録
- 2007年大阪グランプリ
4×400mリレー(3走) 3分30秒53
日本新記録
- 2007年日本陸上競技選手権大会
400mH 56秒09 優勝
- 2007年ヨルダンアジア競技大会
400mH 56秒74 優勝

■『これからの大出場予定』

北京五輪出場(初)

400mH

4×400mリレー

- (株)新潟アルビレックスランニングクラブを応援してくれる方は、ホームページ
<http://www.albirex-rc.com/>をご覧下さい。
誰でも入会することができます。

- 急遽五輪出場が決定したため、昨年の会誌掲載記事を一部編集し、再掲載させていただきますことをご了解ください。

私が陸上競技と出会ったのは、北高二年生の時でした。それまではずっとバスケットをしていましたが、自分にもっと熱くなれるものが欲しいと思い、思い切って陸上部の門を叩きました。始めた頃は全然楽しくありませんでした。ただ走るだけなのに、と軽い気持ちで入部してしまった。しかし、とりあえず走つたことを少し後悔したりしました。ただ走るだけなのに、先生に「四〇〇mハードルをやつてみないか?」と言われました。始めた頃は全く乗り気ではありませんでした。仲間にも恵まれ、陸上競技の楽しさを教えてもらつたから今の私はあるのだと思います。これからも大きな夢を追いかけ、頑張って行きたいと思います。

その時は、全く乗り気ではありませんでしたが、先生のその一言が私の人生を大きく変えました。その時は、全く乗り気ではありませんでした。こんなに長く続けることになるとは誰も考えていないかったです。いつか四〇〇mハードルを走つてみた一〇〇mハードルで地区大会優勝、どんどんコマを進めて、そのままインターハイ出場も決まってしまいました。まだ、

自分でバイクを買つていなかつたので部室に転がつていたスパイクで走つていた頃です。そうなると、走るたびに記録が縮まるので楽しくて仕方なくなりました。勉強そっちのけで私は陸上競技にのめり込んで行きました。三年生になると、顧問の先生に「四〇〇mハードルをやってみないか?」と言われました。三年生になると、顧問の先生に「四〇〇mハードルをやつてみないか?」と言われました。その道の途中には、色々な挫折や困難が待ち構えているからです。でも、だからこそ尊いものなのだと思います。私は、今大きな夢があります。それは、オリンピックで決勝の舞台に立つことです。スポーツ選手なら誰もが憧れる夢の舞台です。そこには、まだ厳しい道のりが続きますが、大きな夢があるからこそ頑張れるこ



①

旭川で活躍する卒業生!!

わが北高の卒業生の皆さんの中でも、旭川で活躍されている卒業生の現況を覗いてみました。



たじま よしうき
北高二十一期 田島 喜幸

■プロフィール

1952年、旭川市生まれ。慶應大経済学部卒業の75年、ゼネコンのフジタ（東京）に入社。78年、旭川に戻って田島工業株式会社に入り、88年から社長。旭川機械金属工業振興会会长、（社）北海道機械工業会鉄骨部会副部会長を歴任した。

■学生時代

クラブ活動は、放送部、社会問題研究会に所属。

当時は、普通科9クラス・家政科1クラス。2年時より理系・文系に分かれてクラス編成され、進学色が強かった。学生時代は、考古学者か精神科医師になりたいと思っていたとのこと。



■趣味

旅行・映画鑑賞など。
社長室の棚に工芸品が所狭しと並ぶ。多い時は年に数回行くという海外で買い求めた品々だ。旅先で見た建築物が仕事のヒントになることもあるという。



■会社事業の一部

田島工業のキャッチフレーズ ● ハイテク(3次元)とローテク(鍛治屋)の合わせ業



つどーむ（札幌）

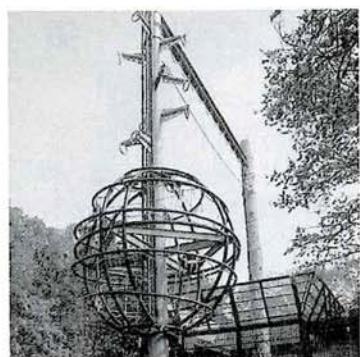


モード学園（名古屋）



資生堂新銀座ビル

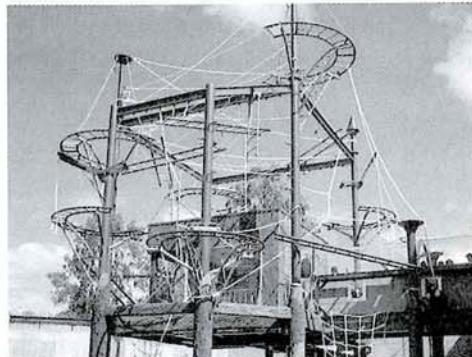
■旭山動物園施設



オランウータン舎



くもざる・かぴばら館



チンパンジーの森

4月5日（土）に映画監督のマキノ（津川）雅彦氏を始め、俳優の西田敏行氏、前田愛氏らがロケに参加しました。

1994年に発生したエキノコックス病のため、旭山動物園が廃園の危機にみまわれた時、園長みずから地元の企業へ存続を訴えるという設定です。社員一同、エキストラ出演し、撮影は無事一発でOKがでました。

公開は2009年1月予定です。



田島工業工場ロケの様子



2008年6月23日

田島工業株式会社 社長室にて
取材させていただきました。
御協力ありがとうございました。

②

旭川で活躍する卒業生!!

わが北高の卒業生の皆さんの中でも、旭川で活躍されている卒業生の現況を覗いてみました。



■学生時代

北高在学中は応援団に所属。

奥様も同級生でした。この期にご結婚された同級生カップルは何と27組!!



もりやま
北高二十二期 森山 領

■プロフィール

昭和28年／旭川生まれ
昭和54年／杏林大学医学部卒業。同年4月より、同大学医学部整形外科医局入局。その後、旭川医科大学整形外科、札幌医科大学麻酔科の医局を経て昭和55年9月、旭川赤十字病院に勤務
昭和60年／医療法人元生会 森山病院理事長就任。現在に至る

- ・旭川日英協会会长
- ・2000年からFMリバーのパーソナリティとして現在大活躍中



CDは200曲☆うちオリジナルは40曲☆



森山病院のクリスマスコンサートにて



「シンガーソングDr. 領ちゃんこと
森山領です」がオープン挨拶

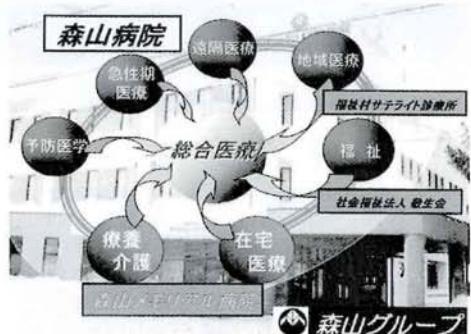


FMリバーの毎週水曜、朝のパーソナリティを務め、すでに426回!! (取材時)



歌を通して、メッセージを
伝える事が出来るのが嬉しい

「医療の問題をわからない皆さんに直に伝える事が出来る介護保険や後期高齢者保険について、すぐに伝えられた事が幸せです」



北高そして北高生にむけて

15、16、17才の生徒が1つの物をするのではなく、幅広くいろいろな物にチャレンジできる学校で、自分に合う物を見つける学校であって欲しい。

そして、過ごしやすく、ほこりのもてる学校であつたらいい。生徒達には、将来的に地元を活性化してくれる人になってくれたりうれしいです。

旭川日英協会例会



旭川日英協会を設立して17年目



駐日英國大使御夫妻との植樹



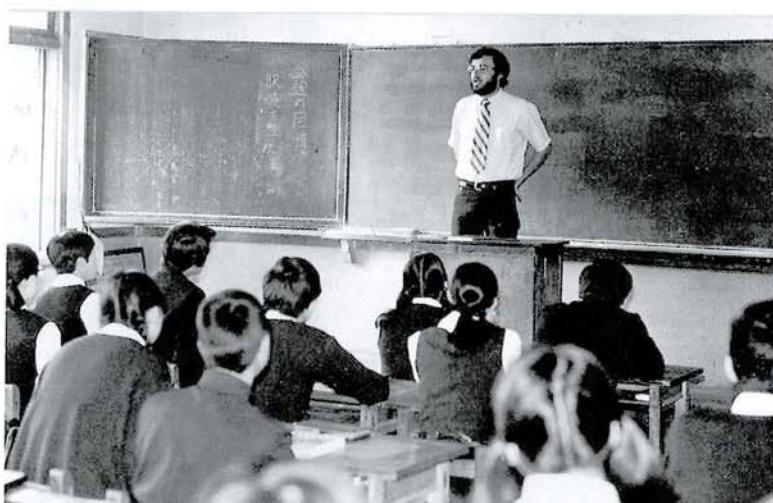
2008年6月25日
森山病院会議室にて取材させて
いただきました。御協力ありがとうございました。

特集

惜念 英語科閉科

昨年度平成20年3月の卒業生を送り出して英語科が閉科となりました。同窓会幹事期である32期も10クラスの内2クラスが英語科です。その英語科をご指導頂いた先生のお話を聞きいたしました。

また、私達旭川北高32期同窓会幹事期英語科卒より原稿を寄せさせて頂きました。



■ 昭和45年6月

英語科一期生が一年時の英会話講師
グレゴリー・ホフマン先生の授業風景
旧校舎2階の1年7組の教室

※大井輝男先生提供



ホフマン先生の授業を受ける生徒の
真剣な表情（窓の外側は野球場）

※大井輝男先生提供



(2008年撮影)

英語科閉科に当って 思うこと

大井 輝男先生

北海道教育委員会が昭和四十年代の中頃に専門学科として理数科・英語科を道内にそれぞれ設置することを決定した。旭川北高に英語科が設置されて最初の新入生を受け入れたのが四十五年四月のことでした。英語科第一期生を四十八年三月に送り出し、連続して英語科担当として翌年に二期生を卒業させたのが、まるで数年前の出来事のように、若き日の自分を思い出しながら原稿を書いています。

英語科設立当初から外国人講師を迎えて充実した語学教育を実践でき、恵まれた環境の中で生徒の意欲を引き出すことが出来たことを何事にも替え難いこととして、当時の記憶がよみがえります。自分が担当した一期生全員が英検二級に合格したのは全国でも例のない快挙だつたと思います。一・二期生の中で、国立大学や一流私立大学の教授となっていたり、大学の特許申請の翻訳に携わるなどして活躍している同窓生がいるのは嬉しい限りです。又、東京のホテル・ニューオータニに調理師として就職した卒業生が英検二級の資格を持っていたので、語学手当として毎月五千円を支給されていたというエピソードもあります。三期生以降でも、語学力に自信をつけて世界に飛び出した卒業生が少なからずいるのは、外国が身近に思えて本人が

やりたい事を海外でもチャレンジできる精神が培われていたからかも知れません。

英語科が閉科になることは残念ですが、小学校でも英語教育が重要視されている昨今、これも時代の流れでしょう。専門学科としての英語科がなくなつても、社会における英語の必要性は益々高まっています。これまで約四十年に亘つて北海道の英語教育において旭川北高の英語科が果してきた役割は大きかつたと確信しています。



当時の若き日の大井先生
(蝶ネクタイが特徴)



読んで、聞いて、 自分の言葉で話す

ジョン齐藤先生

私が初めて北高で先生になつたのは一九七〇年（昭和四十五年）でした。北高英語科一回生から英会話を教え始め、それから三十一年間、（途中、出産等で休んだものの）北高の英会話の先生を務めました。専攻は科学だったので、最初は英語を教えることは断りました。でも、今考えると、「学校で教えたこと」は自分の精神的に良かったと思いますよ。当時は一学年十クラスもありました。

はじめはボロボロの校舎で、くみ取りトイレにはビックリしました。寒くて寒くて…。また、だるまストーブ（石炭ストーブ）にもビックリでした。母国では子どもの頃に灯油ストーブになっていたのに、こちらは、です。新校舎では水洗トイレ、ヒーターにホツとしました。耐震構造の骨組みにはビックリで、おもしろいですね。「これは何だ？」という感じです。

その頃の先生方は熱意に溢れ、生徒たちもコピーなどなかつたのでひたすら書きまくっていました。でも、生徒が良いか悪いかは関係ありません。楽しんで学んでくれれば良いのです。ただ、「これはネクタイですか？」などと書いてある教科書には閉口したのを覚えています。文法も大事ですが、会話の中で間違え間違えしながら学んでいたものこそが「自分のもの」になつていくと思います。

今必要なのはディスカッションではないでしょうか。協力していくことの大切さ、それが社会の平和につながっていくような気がします。仕事があつたことは、私にとっては大変よかったです。夫とは（留学で來ていた）アメリカで知り合いました。夫とは、日本に來てから結婚したのです。私自身はシカゴで生まれましたが、大変良いところですよ。非常勤講師は北高と高専と旭川医科大学でやつていました。河原先生が色々と教えてくれました。自分の子どもが小さい頃は、学校の書類なども初めは大河原先生が書いてくれたりしました。彼女は外国人に日本語を教えるのがとてもうまかつたですよ。グリフィス先

生は英語劇をやつしていましたね。私は子どもがいたので、放課後までつきあえず、できませんでしたが。グリフィス先生はイギリスの方で、交換留学に尽力されていました。志知君（北高三十三期）などはそれで留学した一人です。毎年三、五人は行つていました。志知君は、今は凌雲高校で英語の先生をやっているそうですね。また、川埜先生がお亡くなりになつた時はショックでした。その頃の英語の先生方は皆、私に対してはゆっくりと日本語で話しかけてくれました。とても助かりましたね。

近年、高校の先生方は大学に進んだ人數を気にする風潮もありましたが、私は好きではありませんでした。経済的に「進学したいけどできない」と泣いて見るなど、やつてみると楽しいですよ。そういう「英語の楽しみ」を感じてほしいのです。

英語科は一日中英語漬けの授業ができる環境だと思つたのですが、なくなるのはやはり寂しいです。ただ、少し形態を変える必要はあつたかも知れません。もっと外国人の声を聞き、意見を反映する必要があると思います。

私が良いと思つて探してきた英会話の教本が「McLaren-Walker」（New Horizon）です。アメリカで英語を第二外国語として教え始めた頃に作られた教科書です。指導書などもなかつたので、私が0から教え方を考えました。總てを暗記して、教科書を見ないでもページをめくれるくらい読み込みました。日本の教科書はどうなのでしょうか？やはり会話には不向きの面もあるようです。

大事なのは「読んで、聞いて、自分の言葉で話す（書く）」ことです。間違えて良いのです。間違いを笑われることで、間違いに反応されると人はそこでストップしてしまう。アーヴィングの英語は間違つている」「アーヴィングは英語がしゃべれるつもりでいる」と笑つてはいけません。日本人の良くない所はそういう所ではないかと思うのです。社会に出て、人の口元を見たりして頑張つている生徒もいます。それが大事です。



英語科 フォーエヴァー！

藤野博行（北高三十二期）

昭和五十四年四月、北高六期の母の母校でもある旭川北高に、英語科の生徒として入学できた感激のあの日のことを今も懐かしく思い出します。そしてその「英語科」が：昨年度を最後になくなってしまったのがとても残念です。

入試の日、初めて訪れた北高の校舎はピッカピカ！聞くところによると、数ヶ月前に出来上がったばかりだと。ちなみに、それまでの「旧校舎」は、母の「新校舎」だそうです。

英語科に、なんとか入学。噂には聞いていたものの、教室に入ると女子しか見えない。男子はどこだー!?あー、すみっこにぼつりぼつり。（それでも、英語科始まって以来、男子の数が一番多いとのこと。二クラスで女子六十名、男子二十名！）これじゃ、クラスの議決はすべて女子の意見が通つちまうな、と直感的に思つたものです。

次に、これも予想はしていたものの、英語関係の授業の多さ！こんな日もありました。一時間目はいきなり眠たくなるリーダー、二時間目・暗記必勝のコンボ、三時間目・バブル絶頂期の銀行員時代に海外派遣で大いに役に立つた英会話、4時間目・未だに“英会話には無用”と確信するグラマー、お昼をはさんで五時間目・購読（リーダーの応用みたいなもの、眠気はピーク）六時間目・ちよつとだけかつこよく思えたL・L・と。よくもまあ、これだけ並んだこと。このお陰で大嫌いな数学は、数Iと数II-Bの一部だけで終わりましたが。つまり、微分・積分の公式なんて見たこと

も聞いたこともないわけです。

一番の思い出は、一年生の英語劇「クリスマス・キャロル」。英会話のグリフィス先生の指導の下、学祭数ヶ月前から放課後毎日「カーテン、オープニング！」の号令で練習開始、本番に合わせて十八世纪のイギリスよろしく衣装まで、全員で手作りしました。僕はお化けのマーレー役、体中に巻き付ける「鎖」を金紙でそれらしく見せるために二週間もかけて作りました。

また、ドラムのたたき方を教えてもらうために一週間だけ、と入れてもらつた吹奏楽部に、卒業まで二年半近くもおいてもらいました。そして一昨年は、行きつけのジャズバーの計らいで二十五年ぶりに音楽大行進に参加できました。

入学以来、常に落第スレスレの僕を卒業まで見捨てなかつた、今は亡きW.H.I.C.H “ホエッチ”高橋徹先生に心から感謝です。そして旭川北高英語科を卒業できることを今も誇りに思つています。卒業後二十六年経つた今、北高時代（一組と英語科九・十組は、北極と南極くらい離れていたなあ）ほとんど話もできなかつた同期と今、同窓会幹事として、同じクラスだったかの如く盛り上がりがつて話が出来ることも、今の僕にはかけがえのない宝です。

英語科よ、FOREVER！

同窓生から

好きです♥GOLF!



小枝万美
(旧姓 塚越)

北高32期

をしました。

あれから二十年、振り返るといつもゴルフのことを中心に考え、行動してきた

ように思います。ゴルフレッスンで知り合った主人と結婚し、趣味が一緒の仲間が増え、今はゴルフを通じてたくさんの人と交流しています。

ゴルフの出会いは二十四歳の時、生命保険に初めて入った時に保険会社の担当の方にすすめられたのが、きっかけでした。看護師になって三年目、仕事にも慣れて独身でお金もあつたあの頃でしたから、すぐに西武のゴルフショップでフルセットとシューズ・ウェアなど買いました。えコースデビューをしました。

初めて訪れたゴルフ場の壮大なロケーションに大感激しましたが、ボールを地面から浮かせることができません。こんなに自分の思い通りにならないことに出会ったのは初めてで、とても悔しい思い

北高32期生	美仁雪樹
北高32期生	万勝美晴
北高32期生	枝木村田
北高32期生	小三石本

です。十八ホールの間はいろいろな出来事やドラマがあります。ピンチがチャンスに変わったり、そして自分の限界に挑戦したり、時にはここ一番冷静な判断が求められたり・・・。しっかりとコースに向かって自分を信じてラウンド出来たときは、スコアの良し悪しよりも「自分が成長できた」という充実感があります。

振り返ると北高生の三年間は勉強もせず、何かに夢中になることもなく、ただ惰性で過ごしていました。四十五歳の現在は、これから目標に向かって頑張っています。まもなく子育てが終わるので、五十歳になつたらシニアの全道大会、できれば全国大会にまで出場したいと思っています。

そのために健康管理や体力作りを心がけ、これからもゴルフを通じて技術・精神を鍛えていきたいです。

ふしぎだと思うこと
これが科学の芽です
よく観察してたしかめ
そして考えること
これが科学の茎です
そして最後になぞがとける
これが科学の花です



北高32期
三木勝仁

心の中の芽

国語、社会、数学、理科、英語。

みんなで楽しく大会を盛り上げたいと思います。これが同窓会のゴルフコンペの成功につながると信じて今、一生懸命準備しています。そして「今回のコンペをきっかけにゴルフ好きの同窓生のつながりが広がること」と願っています。

そんな私が今、「北海道立理科教育セミナー」という、小学校の先生、中学校や高校の理科の先生が、理科の指導法や教材・教具について研修する機関に勤務しています。少しふしきです。

ノーベル物理学賞を受賞された朝永振一郎さんの言葉に、

「ふしぎだと思うこと」これが科学の芽です
「よく観察してたしかめ」これが科学の茎です
「そして考えること」これが科学の花です
というものがあります。この言葉のよう

な、子どもの思いを大切にした学習、子ども達の考え方方に沿い、子ども達が納得しながら学ぶ授業、「学ぶ楽しさ」を味わう授業が数多く展開されることを願つて、研修講座や教材研究に励んでいます。

気づけば、理科が嫌いだった私が理科を好きになり、小学校で子ども達と理科の学習をすることが何より楽しいと思い、先生方に理科の学習について話をするようになつっていました。嫌いだつた理科を好きになつたのは、北高のことでした。きっかけは何だつたのか、よくわからぬのですが、化学と地学が好きになつていました。また、学ぶ楽しさを子ども達に伝えられる教師になりたい、と思うようになったのも同じ頃でした。そのようなことは、私だけに起つたのではない

よう思います。

あの学舎での日々の中で、私たちの中には、科学の芽ばかりではなく、スポーツや芸術、文学、〇〇の職に就きたいなど、多くの芽が芽吹いていたと思います。これからも、心の中の芽をじっくりと、丈夫な茎に育てていきましょう。

みなさんの中の花が、それぞれに咲き続けることを心からお祈りするとともに、自分をふり返る機会を下さった同窓会の方々に感謝します。

高校今昔 雜感



石村美雪
北高三十二期

この春、上の娘が高校に入学した。北海道と本州の違いもあるが、自分の時代との違いに、入学前から驚くことばかり。数えてみると、北高入学からなんと三十年も経っていた。そんな感慨もこめて、あの頃を娘の高校生活に合わせて振り返つてみた。

○入学式まで：三月、説明会での頃と同様に教科書・体操服・上履き等を購入。配付資料中にはなんと、入学式に提出する宿題が三教科も。春休みは遊び、つてことね。あの頃宿題なんてあつた？今は厳しい。制服はブレザー。北高セーラーが少し懐かしい。

○授業参観：高校で親が授業参観に来た

記憶はない（私が忘れているだけ？）。

娘に来て欲しい？と聞いたら即座に嫌だ！と言わされたので、行かないことに。そりやそうだ、私だって来て欲しくはなかつたと思うよ。

○冷房：小・中は扇風機のみだったが、夏期講習もある高校、さすがにクーラーがあつた。娘に去年より快適？

と聞いたら、確かに涼しいけれど、どこぞの“バカ”男子が設定温度十九度などという、クール・アースに反したことをしてくれて、頭が痛くなつたと憤慨していた。女子は冷えがつらいそだ。北高は当然扇風機もなくつて、下敷きで扇いでいたつけ。冬はやっぱり寒かつたけど、今思うとこつちより暖かかったかも。暑くなる前の、五六月ボーラの綿が飛ぶ頃は快適で、思ひ出す光景は幸せ気分に彩られている。

○進路：二年進級時に文理選択をするので、一年で決めるらしい。文系志望という娘の話を聞きながら、私も一年時は文系志望で、二年で受けた授業で理系に変わつたつけ、と思いだした。

お世話になつた多くの先生、先輩、友人。今の私の礎となつてゐるあの時代を振り返り、私は本当に良い三年間をかの地で過ごしたと思う。娘にもそう振り返ることのできる高校時代を過ごして欲しいと心より願つてゐる。

ところで、今、娘の一番の悩みは数学でできないこと。梶田先生、どうしたらいいか、教えてください！

高校時代の思い出



本田晴樹
北高三十二期

この四月に旭川北高校に着任した。まさか自分自身が教師として母校に戻つてくるなんて事を、卒業した二十六年前に想像できただろうか。

現在、三階の物理教室と物理準備室の管理責任者は私である。二十六年前の過去の自分に、「お前は将来、北高の物理を教える教員としてここに帰つてくることになる。」と言つたとして、それを聞いたその時の自分には、「たいしておもしろい冗談じゃないな。可能性が少しあればちょっと笑える話だが一〇〇%ありえない。」というぐらいにしか受け止めることができなかつただろう。

高校時代は教師という職業にはまつたく関心をもつていない。まして考査でも平均点以上の結果を出した記憶がない。物語の教師なんてまず考えられない。人生とはおもしろいものだなと思う。

黒川先生にまつわる話にはきりがない。

自分の高校時代は黒川先生の存在なくして語ることができない。

黒川先生に指導を受けた私も含めた野球部卒業生にとって、過去の北高時代の野球部話は常に盛り上がり一瞬にして当時の記憶がよみがえつてくる。今では考えられないような野球を経験できたことは今の自分にとって貴重な財産となつてゐる。高校時代に出会えた黒川先生には、強烈に今でも記憶に残つている。練習

さて、高校時代の一番の思い出はなんといつても今は亡き黒川先生の指導のもと、白球を追いかけた野球である。正直、かつての北高野球は自分にとってかなり辛いものであった。二十年以上も前の出来事なのに、強く今でも記憶に残つている。練習中の選手達の元気のなさが黒川先生の逆鱗に触れ、国道沿いの校門の前で一列に並ば

され、大きな声で校歌を歌つた。そんな時はだいたい、目の前に乗客を乗せたバスが赤信号で停車する。何の報告もなくベンチに放置してある紐の切れたファーストミットは当然、黒川先生のこめかみを刺激し、「なぜ修理していない。直しに全員で行け。五分で帰つて来い。」駅前にあつたスポーツ用品店まで選手全員が猛ダッシュで走つたことは言うまでもない。高二の夏の初戦、旭川大に完敗した。「俺の指導は間違つていた。やめる。」と言つて黒川先生は立ち去つていった。そして選手同士は互いに目を見合わせた。

これからは自分達だけで楽しく野球ができると浮ついた気分でいた数日後の練習中、ライト奥の体育館ドアから頭を丸めた黒川先生がゆつたりと歩いて登場した。震えた。今でもその光景は目に焼き付いている。

黒川先生にまつわる話にはきりがない。自分の高校時代は黒川先生の存在なくして語ることができない。

黒川先生に指導を受けた私も含めた野球部卒業生にとって、過去の北高時代の野球部話は常に盛り上がり一瞬にして当時の記憶がよみがえつてくる。今では考えられないような野球を経験できたことは今の自分にとって貴重な財産となつてゐる。高校時代に出会えた黒川先生には、強烈に今でも記憶に残つている。練習

進路指導部 (全員制)

進路指導部
中村 康広

増加は、女子の国公立合格者が増えていること、道外大学に出て行く傾向に支えられています。自分の力に見合った大学選択をすると、道内大学のバランスが悪いので、自然とこうなります。

一見増えた道教育大ですが、旭川は一頃の半分の一四名でしかなく、岩見沢の人数が増えています。

私立大学では、「道外大学を第一志望とし、道内大学を滑り止めにする」のが傾向です。今年度その結果として北海学園が増加しました。

平成十九年度、六間口二年目の卒業生は両期的成果を上げました。卒業生二三六名のうち進学希望者が二三一名。そのうち一二三名が国公立大学に合格するという快挙です。北高が八間口あつた時の最高数一一名をあっさりと抜いてしまいました。生徒数は八〇名も減少しているにもかかわらずです。一二三名という数は、別の意味も持っています。つまり半数以上の卒業生が国公立大学生となつたという意味でもあります。

北海道大学については、ようやく安定して二けたの合格者数を維持できるようになりました。次は、なんとか二〇名越えを狙いたいものです。

この表からはわかりませんが、この数の北海道大学については、ようやく安定して二けたの合格者数を維持できるようになりました。次は、なんとか二〇名越えを狙いたいものです。

まだ、北高生の実力は出し切っていないと思われます。単位制も導入しました。生徒たちの進路目標を実現できるように、全校あげて取り組んでいるところです。

同窓会の皆様の力強いお力添えを今年度も、宜しくお願い申し上げます。

[私立大現役合格者数]

大学名	H16	H17	H18	H19
北星学園大	20	20	23	25
北海学園大	44	19	19	36
札幌大	9	8	3	4
札幌学院大	7	13	0	6
札幌国際大	2	2	0	0
天使大	3	6	5	5
道医療大	6	15	11	8
道薬科大	3	7	6	5
藤女子大	11	4	2	2
駒農学園大	3	2	1	4
浅井学園大	3	1	0	1
千歳科技大学	1	2	0	0
日赤看護大	6	0	0	1
獨協大	1	3	1	3
青山学院大	1	3	0	1
学習院大	2	2	0	1
慶應大			0	0
中央大		1	8	4
東洋大	1	2	1	4
法政大		8	2	0
明治大	3	3	2	0
立教大	1		1	2
早稲田大	1		0	3
国際基督教大				1
同志社大	2	6	1	1
立命館大		4	0	3
その他	53	43	23	68
私立大合計	185	175	122	188

[公務員・民間就職合格者数]

種類	H16	H17	H18	H19
国家公務員	1	3	2	1
道職員	1	2	1	1
市町村職員	0	0	2	1
他の公務員	2	0	0	1
民間就職	3	4	5	4

平成19年度 卒業生の進路 20年3月卒業生

進路別人数

区分	科	普通科		英語科		合 計			前年	
		男	女	男	女	男	女	計		
卒業者数		93	104	15	23	108	127	235	241	
進学希望者数		92	101	15	23	107	124	231	232	
進学者数		72	92	12	21	84	113	197	191	
進学先内訳	大學	國公立	道内	19	42	4	2	23	44	67
		道外	35	8	0	2	35	10	45	35
	私立	道内	5	16	2	9	7	25	32	27
		道外	11	8	5	2	16	10	26	24
	短大	國公立	道内	0	2	0	0	0	2	2
		道外	0	0	0	0	0	0	0	1
	私立	道内	0	6	0	1	0	1	1	7
		道外	0	0	0	1	0	1	1	1
	大学校等		0	0	0	0	1	0	0	0
就職	専門学校	看護	道内	0	9	0	3	0	12	7
		道外	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	道内	1	5	0	1	1	6	7	10
		道外	1	2	1	0	2	2	4	5
公務員		1	3	0	0	1	3	4	5	
民間		0	0	0	0	0	0	0	6	
自営：家事手伝		0	0	0	0	0	0	0	1	
その他(進路先未定を含む)		20	9	3	2	23	11	34	44	

08' 部活動報告



●野球部

私達野球部は、昨年の秋期大会において、最終回に三点差を逆転されてサヨナラ負けをするという悔しい結果から、例年のオフシーズンよりも、厳しい冬のトレーニングを行いました。ボール間をひたすら走り、積もった雪の中でタイヤをひき、ハウスの中でサークルトレーニングをし、コーンを立ててダッシュをするなど、毎日が厳しい冬でした。ですが、その厳しい冬を乗り越えられたのは、キツイ時にかけてくれる笠井監督の熱い声や、一人一人に「キツイ時こそ笑顔でやる!」という気持ちがあつたからだと思います。

しかし、今年に入つて部員の一人の久保田が、脳脊髄液減少症という病気で、練習ができず、グランドにも来れない状態になつてしましました。そこから私達は、「久保田が帰つてくるまでこのチームを絶対に終わらせない!」というテーマで、どんな練習にも耐えてきました。

また、自分達は野球だけ高い意識で取り組むのではなく、笠井監督が一番重点におぐ、「人間力」を意識して、普段の生活も改めました。

これらのこととした成果として、春からのオープン戦では、昨秋とは一味も二味も違う四強に入り、夏のシードを獲るなど、秋の敗戦から大きくパワーアップしました。夏の大會では、準決勝で旭川実業高校に敗れ、私立会では、初戦、留萌高校との接戦を制し、自分達の野球ができましたが、二回戦で旭川南高校に敗れました。

一年生と共にプレーしてきた期間は二ヶ月間と、とても短かったです。二年生とは秋の敗戦や、厳しいトレーニングなど、苦しいことを共に乗り越えてきた仲間なので、この夏の敗戦のくやしさ、久保田をスタルヒン球場のバッターボックスに立たせてあげられないかつた悔しさ、このすべての気持を受け継いでくれると思います。ですから、今後とも旭北「人間力」野球を応援よろしくお願ひします。

●ソフトテニス部

ソフトテニス部の活動について、少し報告させていただきます。相変わらず男子の入部者はなく、女子のみで活動しています。三年生が三名、二年生も三名、そして一年生が五名です。先日行なわれました高体連の大会ですが、三年生にとっては最後の試合ということもあり、精一杯がんばりました。結果は予選リーグを通過しましたが、決勝トーナメントの初戦負けです。

ただ相手校とどれほどの差があつたかと言えば、「それほど」の実力差があつたとは思えません。来年は必ず今年以上の成績を收められるよう、またがんばります。どうぞよろしくお願いいたします。

高体連地区予選
旭川北 2-1 旭川農業（予選）
旭川北 0-2 旭川東（予選）
旭川北 0-2 富良野緑峰（決勝）

●硬式テニス部

硬式テニス部は、男子二十九人、女子二十一人、で活動しています。個性豊かな部員の集まりで、楽しくやっています。高校から始めた人や、小学生からやっている人などで活動しているため、考え方が違ったり、技術にも差があります。しかし、皆、協力し合い、一生懸命頑張っています。テニスは、個人競技

信頼関係を作り、団体で勝つという目標をかけています。これからも、よりよい信頼関係を作り、その中で高め合えるように団結して頑張っていきたいと思います。

◎高体連地区予選
男子団体 3位 女子団体 1回戦敗退
男子個人ダブルス 内海・鴨井組 第5位

（全道大会ベスト32）

●男子バレーボール部

男子バレーボール部は五名の三年生が引退し、二年生四名、一年生四名の選手と、マネージャー四名で毎日練習に励んでいます。

今年の三年生はシード校相手にセットを取り組んで成長してくれましたが、あと一步のところまで結果を残すことができませんでした。新チームは身長も低くなりましたが、拾つてつなぐバレで、先輩以上の結果を残せるよう頑張ります。

【大会結果】

バレーボール祭

1回戦 旭川北 0-2 旭川工業

旭川支部春季大会

1回戦

旭川北

2-0

旭川明成

2回戦

旭川北

1-2

旭川西

高体連旭川支部予選会

予選グループ戦

旭川北

2-0

旭川東

決勝トーナメント

旭川北

1-2

旭川凌雲

●卓球部

高体連旭川支部大会では、男子は惜しくも全道出場はできませんでしたが、女子は団体二位、ダブルス一位（桑谷・濱村）、五位（山根・地徳）、シングルス三位（地徳）、五位（桑谷）が全道の出場権を得ることができます。

新チームは一年生十一名、二年生五名の十六名で、上杉部長を中心に頑張っています。

●サッカーチーム

サッカーチームは現在三年生が引退し、選手十四人、マネージャー七人という非常に少ない人数で活動しています。新チームになつたばかりでまだまだ足りないとこころもたくさんあります、これから合宿や普段の練習から着実にチーム全体でレベルアップしていきたいです。

特に今年は部員が少ないので一人一人が百

パーセント以上の力を出していかなければ、部員が多い強豪などには勝てないので。だから全員が一生懸命走り、一生懸命声を出し、少ないながらも強豪校とも対等に戦えるチームになり、全道出場を目指し、日々、頑張つていただきたいと思います。

生の時からゲームに出場しているので経験は積んでいます。これから更に練習を積んで、内容の濃い試合ができるよう頑張つていけるます。

高体連予選

旭川北 2-0 上川

高体連決勝トーナメント

旭川北 0-2 富良野

●女子バレーボール部

一年生六名、二年生六名、三年生二名、マネージャー二名の計十六名で毎日元気に活動しています。今年は三年生が二人しかいませんでしたが、高体連の大会では後輩を引っ張りました。新チームは一年生十一名、二年生五名の十六名で、上杉部長を中心に頑張つています。

●バドミントン部

バドミントン部は春から男子十八名、女子十二名の計三十名で活動しています。部員は個性的なメンバーがそろつていて、つらいメ

-24-

二年も楽しくしながら練習に励んでいます。今年は、仲間とたくさんの方々の応援と協力のおかげで、女子ダブルスでインターハイに出場することができました。

今後も、感謝の気持ちを忘れずに、来年のインターハイを目指して、日々努力していきたいと思います。

【おもな大会結果】

◇ 北海道高等学校新人大会

平成20年1月17日～19日

帯広市

女子団体 北北海道

女子複 佐野・佐々木梨

ベスト8

女子単 佐野

ベスト8

◇ 国民体育大会北海道予選会

平成20年5月9日～11日

帯広市

女子複 佐野・佐々木梨

3回戦敗退

◇ 高体連旭川支部大会

平成20年5月27日～29日

旭川市

男子団体

ベスト8

女子団体

準優勝

男子複 松平・富田

3回戦敗退

女子複 川岸・富田

2回戦敗退

男子単 松平

3回戦敗退

女子単 佐野

3回戦敗退

◇ 第60北海道高等学校選手権大会

平成20年6月17日～20日 函館市

女子団体 北北海道 第3位

女子複 佐野・佐々木梨 第3位

(北海道準優勝 全国出場)

男子単 川岸・富田 第3位

1回戦敗退

女子単 佐野 北北海道 第3位

1回戦敗退

1回戦敗退

● 陸上部
男子個人 松本 佐久間5位、天方 8位
女子個人 武田 2位、佐藤 4位
男子団体 佐藤 3回戦敗退
女子団体 第3位
男子個人 松本 4位
女子個人 武田 2位、佐藤 4位
男子個人 松本 1回戦敗退
女子個人 武田 3回戦敗退
(北海道準優勝 全国出場)
川岸・富田 1回戦敗退
女子単 佐野 北北海道 第3位
富田 1回戦敗退

● ソフトボール部
今年も一年生が八人入部し、部活動も活気に満ちています。練習の質を上げ、個々人のスキルも上げて秋の新人戦では優勝したいです。

● 剣道部
今年の支部大会は「男女団体全道大会出場」を目標に日々努力してきました。

その結果男子団体は予選二次リーグで敗退しました。また女子団体については決勝リーグの最終戦で敗れ上位三校の三つ巴になつた結果、勝者数により三位に終わりました。

今年は残念ながら団体戦では全道大会に出場することはできませんでした。この悔しさを忘れずに、今後は一・二年生を中心日々の練習を積んでいきたいと思います。また練習試合の結果がそのまま公式戦にも現れてるので、自ら自分の欠点を見極め、改善に努める姿勢を培つていきたいと思います。今後も引き続き御支援・御声援よろしくお願ひします。

● 男子バスケットボール部
私は、二年生八名、一年生八名、マネージャー二名で足立先生の指導の下で活動しています。五月末に行われた高体連では、旭川地区三位の旭大高に当たり、負けてしまいましたが三年生の雄姿を一・二年生は見せてもらいました。

新チームでは、去年より練習が厳しくなっていますが、厳しくて辛い時こそみんなで支え合い、乗り越えて強くなつていきたいと思っています。一日一日の練習を大切にして全道大会出場を目標にして頑張つていきたいと思います。

● 女子バスケットボール部
私は現在ブレイヤーが二年生十二名、一年生六名、マネージャーが一年生一名の合計十九名で活動しています。昨年顧問の先生が変わり、すべてがガラリと変わりました。私は「闘う旭川北女子バスケットボールチーム」を創ろうとしています。

練習は厳しいです。苦しいです。でも、だからこそそれを乗り越えた時に大きなものが待っていると思います。樂をしていて良いことがあるとは思えません。苦しいことを乗り越えるからこそ得られるものがあるはずです。

私はまだまだ未熟ですが、一日一日を大切にして進んでいこうと思います。

私は必ず、素晴らしいチームになります。

今はまだまだ未熟ですが、一日一日を大切に頑張つていく所存です。旭川北高校は周知の通りの伝統校です。特に、陸上競技部には久保倉選手という偉大な先輩もおります。本校の伝統に見合うような強豪チームに一步ずつ前進していくと思います。

● 山岳部
山岳部は現在三年生五人で活動しています。今年の高体連地区大会では五チーム中二位となりました。全道大会では「打倒東」を目標に楽しんでいきたいと思っています。

今回の大会を最後に僕達は山岳部を引退することになりますが、今まで山から学んだ事を忘れてしまわず、未長く山とお付き合いしていきたいです。また、僕達を育んでくれた北高山岳部も読売巨人軍のように永遠に不滅であつてほしいものです。

● アーチェリー部
現在、アーチェリー部は三年生女子三名男子十一名、二年生女子一名、一年生女子一名で活動しています。男子四名の総勢二十一名で活動しています。

昨年度の新人戦では、主藤あゆみさんが全道優勝を果たし静岡県掛川市で行われた全国大会に参加してきました。今年の六月には高体連全道大会が行われ、女子団体三位、男子も個人戦で七名が決勝トーナメントに残るなど健闘し、日頃の練習の成果が実りました。

新体制となり、部員数は一・二年生六名になりました。やや寂しくなりましたが、部員たちは熱心に活動しています。九月の新人戦に向けて二年生の指川春菜さんを中心につかりと目的意識をもつて練習に取り組んでいます。

旭川のアーチエリー協会の協力も得ながら、今年もさらなる飛躍を目指してがんばっています。

赤井川村 6月11日～13日

男子団体 ベスト8

女子団体 3位

男子個人 ベスト32 32名

女子個人 ベスト32 32名

ベスト16 16名

7位：1名（岸本茉奈さん）
16位：2名

●少林寺拳法部

今年も十一名の一年生が入部してくれ、男子十八名・女子十六名で活動しています。

昨年夏の全国大会では、男女が複数種目で予選を通過し、特に男子団体は創部以来初めて六位入賞という結果を残せました。

秋以降も全道新人大会で好成績を挙げ、春の全国選抜大会に男女揃って進むことが出来ました。お陰様で、年々北海道代表としての存在感が増すのを感じています。

六月の高体連全道大会では、女子団体が惜しくも全国出場を逃しました。しかし、男子が奮起し二年連続の総合優勝を遂げ、再び優勝旗を持ち帰ることが出来ました。

來たる全国高校大会では、引退した三年女子の分も努力し、昨年に続いて入賞者が出来るのを目標に、一生懸命頑張ります。

高体連全道大会結果（入賞者）
（男子） 総合一位
☆田牧 河村・角田・岡崎（3年）・
波岸・吉田・竹内・大橋（2年）組
組演武（初段の部）
☆岡崎・角田（3年）組
〃（段外の部）
☆波岸・石山（2年）組

高体連全道大会結果（入賞者）
（男子） 総合一位
团体演武
☆田牧 河村・角田・岡崎（3年）・
波岸・吉田・竹内・大橋（2年）組
組演武（初段の部）
☆岡崎・角田（3年）組
〃（段外の部）
☆波岸・石山（2年）組

☆竹内・吉田（2年）組 三位
単独演武（有段の部）
田牧侑也（3年） 一位

〃（段外の部）
波岸泰啓（2年）
竹内裕司（2年） 三位

（女子）
团体演武
渡邊・佐々木・一階堂・横山・後藤
稟屋・柴田・西野（3年）組 三位

組演武（2段以上の部）
☆渡邊（3年）・中川（2年）組 三位

単独演武（段外の部）
大角有里沙（2年） 三位

●吹奏楽部

吹奏楽部は今春一年生二十名を迎え、総勢五十四名で「聴衆に感動をあたえられる演奏をしよう」を目標に部員全員が一丸となつて精力的に演奏活動を行つてあります。現在は北高祭や各種コンクール、第三十三回定期演奏会に向け毎日練習に励んでいます。

◎平成19年度の活動内容および成績

☆は全国大会（8月1～3日小田原市）へ

○平成19年度の成績
高文連全道美術展・研究大会

（10月11日～12日 蕃広市）

全道優秀作品賞 3年 高橋香

2年 三ツ井悠花

3年 中村彩夏

3年 酒井未和

3年 前田杏寿

2年 瀬戸はるか

1年 後藤亜結

1年 藤田由里子

●音楽部

吹奏楽団体コンクール旭川地区予選
個人・アンサンブルコンクール旭川地区予選
吹奏楽発表部門参加
チューバソロ 銀賞
金管八重奏 金賞
クラリネット六重奏 金賞
北海道アンサンブルコンクール
クラリネット六重奏 銀賞

第5回トリニティ・コンサート主催

第32回定期演奏会主催

北海道音楽大行進、アフター・コンサート参加

イオノンスプリング・コンサート実施

入学式、新入生歓迎会、野球応援、北高祭、卒業式にて演奏

ついに部員一名、顧問二名になるかと思われた演劇部ですが、三年生一名と、一年生が三人名入部。たつた五名になつただけなのです。そして、今年度は長らくお世話になつた宗像先生がご退職を迎えます。なんとか、イメージをしていただけるよう、精進を重ねたいと思います。

演劇は、けつして一人ではできないもので協力しています。

これまで誰かに助けられたり、助けた

りの繰り返しです。とかく一人で生きてい

ると思い上がり、現代人には想像もつかない世界です。しかし、社会生活とは、疑いもなくそのような仕組みで動いています。

たとえそれをやつても誰にも褒められない、給料が上がるわけでもないが、誰かがやらないと世の中が悪い方向に進んでしまう、そういう仕事を、黙々と実行できる人材（こういう人材が社会保険庁にいたら…）になる、それが、演劇の世界で、発見して欲しいことです。

●華道部

今年は、一年生四名、二年生四名、三年生二名の計十名で毎週水曜日に活動しています。立岩先生のご指導の下、華道に励む私達は学年を問わず仲が良く、教室にはいつも笑い声が響いています。

そんな華道部は、恒例の学校祭での作品展示をはじめ、毎年応募しているインナーネット花展への出品など

の活動を積極的



に行っています。また、日々の活動の充実をはかる為、生けた花の記録もるように努めています。

これからも先輩方によつて積み上げられてきた四十年以上の伝統を大切にし、華道を通して日本の伝統文化の美しさ、素晴らしさを学んでいきたいと思います。

●茶道部

今年度は、一年生六名の入部があり、二年生九名、三年生六名の計二十一名でスタートしました。月曜日は、芸講師の立岩先生のご指導の下、稽古に励んでいます。木曜日は三年生が中心となり、基本練習の席入、挨拶の仕方、帛紗さばき等の割稽古を行っています。普段は脇やかで元気いっぱいの生徒たちも、いざ開始となると姿勢を正し緊張感をもつて稽古に集中しています。

中間考査が終了し、今は北高祭のお茶会に向けての稽古を始めています。日頃の活動の成果を披露できる唯一のお茶会に向け、完璧なお手前をと意欲的に取り組んでいます。当日々は部員一同心をこめて、おいしいお茶で多くのお客様をもてなし、喜んで頂こうと思っています。

七月で三年生は退きますが、二年生が中心となり一年生と共に歴史ある北高茶道部の伝統を受け継いで行つてくれると思います。これからも日本の伝統文化である茶道を通して、人を中心からもてなす精神を学び、心豊かな人間になれるよう稽古を積んでいきたいと思います。

●インター・アクト部

私達インター・アクト部は、現在三年生二名、二年生一名の計三名で、旭川北口一タリーケーブルの御支援の下、様々な活動を行つています。主な活動内容は次のとおりです。

・北高周辺のゴミ拾い

- ・ゴミのポイ捨て禁止運動の参加
- ・清掃登山活動
- ・募金活動
- ・フリーマーケット
- ・インター・アクト地区大会
- ・今年も去年同様、卒業生が使用していた靴を回収・洗浄してフリーマーケットに出店

ようと思つています。また今年は街頭での募金活動だけでなく、北高祭での募金、ブルリングや古切手、書き損じハガキの回収も行う予定です。

部員数は少ないので、精一杯活動していきたいと思つています。

●文芸部

今年度は三年生三名、二年生三名、一年生三名というバランスのとれた人数で、意欲的に活動しています。

今年度より、「ミツク系の色合いの残る『ファンタジア』から、本格的な文芸部誌を目指し、『玉響（たまゆら）』として創刊しました。第三号は、一五〇ページを超える力作ぞろいとなりました。今後も地道に書き続けていきます。

高文連上川支部文芸研究会

詩部門	佳作	吉住	理加
短歌部門	佳作	太田	紗美
部誌部門	全道推薦		

今年度は三年生一人のみの活動になつてしましました。

今は学校祭の展示の準備を進めています。

三年なのでこれが最後の学校祭になります。

残りの時間を活用し、悔いの残らない、自分にとって最高の学校祭にしたいと思つています。

私達インター・アクト部は、現在三年生二名、二年生一名の計三名で、旭川北口一タリーケーブルの御支援の下、様々な活動を行つています。主な活動内容は次のとおりです。

・北高周辺のゴミ拾い

めの研究だけではなく、子供向けの実験もサバイバルなど様々な場所で行つてきました。今年は学校祭が理研部の大きな活動の最後になつてしまうかもしれません、最後まで楽しく部活を続けたいと思います。

●放送局

道北のアナウンス王国と呼べる状態まで、あとわざか。地区大会では堅調な結果に終り、全道大会では決勝にて惜しい結果に終りました。二年連続全国大会出場となる三年の水野さんに、全道の専門委員からも大きな期待が寄せられています。番組部門では、ラジオドキュメント部門で次点！惜しくも全国への切符をつかめず、涙を呑みました。秋の高文連大会で巻き返しを図ります。

第55回NHK杯全国高校放送コンテスト大会結果
①上川・留萌地区大会（5／21・22、旭川市民文化会館）
創作テレビドラマ部門 3位
創作ラジオドラマ部門 1位
ラジオドキュメント部門 2位
研究発表部門 1位

朗読部門	1位	木村 麻優
	2位	中谷 衣里
	6位	菱川 晴吉

（齋藤翔平、佐藤瑞穂、矢萩可奈子 アナウンス部門	1位	水野 真衣
	2位	佐藤真里愛
	3位	三浦 瑛美
	6位	水野 佑希

（齋藤翔平、佐藤瑞穂、矢萩可奈子 アナウンス部門	選外	札幌市ちえりあ
-----------------------------	----	---------

創作テレビドラマ部門	選外	
創作ラジオドラマ部門	選外	
ラジオドキュメント部門	選外	

研究発表部門	選外	
--------	----	--

朗讀部門	選外	
------	----	--

アナウンス部門 中谷衣里 奨励賞
佐藤真里愛・三浦瑛美 選外
水野真衣 6位 奨励賞
(全国大会進出)

●生徒会執行部

旭川北高の先輩方、こんにちは。現在北高的生徒会長を務めています、松下元気です。

現在、この原稿を書いている周りでは北高生が北高祭の準備をしています。今年の北高祭のテーマは「二十四H青春マート～あなたのハートあたためますか？」に決まり、このテーマに沿つて企画をしてきました。そして今年から各クラスの露店の利益から五バーセントをUNICEFや四川大地震、旭川福祉協会に募金することになりました。これは私達がいつも学校で勉強をしたり、部活動をしたりできるのは地域のみなさんや同窓会のみなさんのおかげであると考え何か還元できないか、そして少しでも世界中の人々のハートがあたたかくならないかと思い、生徒会で企画しました。その祭、北高生にアンケートを行つたのですが、ほとんどの生徒が心良く了承してくれたことに、私は本当に北高生は素直で、いい生徒が集まっているなあと感じました。

さて、現在の北高は昨年英語科が閉鎖となり、今年から全学年が単位制に変わりました。部活を引退した三年生は生徒会室横の数学教室などで勉強を始めています。先生方も私達のためにバックアップをして下さっています。私達はこのような環境で勉強ができることを幸せに思います。

これからも先輩方が築いてきて下さった伝統を後輩達に伝え、いつまでも先輩方が誇りに思えるような学校にしていきたいと思います。

ち三十二期が幹事を務めることを知つて
謝申し上げます。

昨年の同窓会総会の時点で、今年私た
ち三十二期が幹事を務めることを知つて
謝申し上げます。

なんとか同窓会を成功させたい。いや
必ず成功する。

実行委員長を受けたものの、当日
までの膨大な準備作業にほとんど携わる
ことができなかつたなかで、ここまでの
苦難を乗り越えてきた同期の仲間に心か
ら感謝したい。そして四十五歳を迎える
この年に幹事の機会を与えてくれる先輩
方が築いてくれたシステムにも心から感
謝申し上げます。

当番期あいさつ

第43回同窓会実行委員長
北高32期 小川勝也



いた同期はほんの数人でした。引継ぎが
行われた時点での私たちの緊張は頂点で
した。膨大な準備作業と重い責任。同期
の住所調べや名簿作り。そして三十一期
の先輩からの厳しいアドバイス。

役割分担がきまり先輩からの助言をい

ただき私たち第四十三回実行委員会は変
わつていきました。時間を作り連絡を密
にし、それぞれの得意分野でがんばつて

きました。目の色が変わり自信がみなぎ
り、結束が強くなる同期の姿を見つめて

まいりました。このことは言うまで無く
北高三十二期全員のかけがえのない財産
になります。

さらに諸先輩のご協力をいただいたり、
アドバイスをいただくにつれ、旭川北高
に学んだ誇りが強くなつてまいりました。
と同時に伝統のバトンを次の期につなげ
る、後輩たちから頼りにされる自分たち
になるという大きな責任が生まれたこと
も自覚してまいりました。

しっかりと準備してきた同窓会を成功さ
せます。そしてなによりも久しぶりに会
う友とおいしい酒を飲みます。

いつも励ましてくださった本部役員の
皆様、懇切丁寧にご指導くださった三十
一期の先輩方、さらに広告・会券のご協
力をいただいたみなさまに心から感謝を
申し上げながら、さらにはご出席いただき
いた同窓生の皆様をはじめとするすべて
の旭川北高卒業生のご健勝とご活躍を祈
念して当番期代表のあいさつとさせてい
ただきます。

高校を卒業してから早いもので、もう
二十六年が経とうとしています。私たち
の期は、校舎がまだ新しく、その校舎の
屋上からはスタルヒン球場の試合を見る
ことができました。また、学校祭前日祭
では、グラウンドにはキャンプファイヤー
、その火の周りを全校生徒でフォーク
ダンス。その当時は学校祭としては最先
端、とても楽しい行事だったと記憶して
います。そんな華やかな高校時代も終わ
り早二十六年。同期の仲間たちは現在ま
でさまざまな道を歩み、それぞれが精一

杯生きてきたのだと思います。いろいろ
な苦難を乗り越え、またはいろいろな重
責を担い、時には挫折し、時には成功の
喜びを感じ、ようやくこの歳までやつて
きたという感じではなかつたかと思いま
す。

今から四年前、この同窓会のために三

十数名の同期が集まり、当番期のための
打ち合わせを行いました。二十数年ぶり
に会つた仲間との会は、もはや昔の面影
もなく誰なのかもわからないような状態
のまま打ち合わせが進みました。話し

始めると昔のまま、見かけは変わつてい
ても中身は何も変わらない、本当に懐か

しい話が飛び交っていたものでした。時
代を超えて、それぞれの人が歳を重ねてい
つてることは間違いないのですが、い

つまでも変わらない当時のままの仲間が
そこにいることに、とてつもない安心感
が込み上げてくる、そんな同窓会だつた

ことを思い出します。そんな懐かしさを
もう一度感じることができれば、これか
らのそれぞれの人生にも何かしら一役を
担えるのではと思います。そんな思いを

感じていただけるような同窓会ができ
ればと思つています。何もわからず不慣れ

な三十三期ではありますが、諸先輩のお
世話になりながら次年度の当番幹事を何
とか成功させられるよう頑張りたいと思

います。代々引き継がれてきたこの伝統
ある同窓会がますます発展していきます

よう祈念いたしまして挨拶の言葉としま
す。どうぞ皆様よろしくお願ひいたしま

次期当番期あいさつ

第44回同窓会実行委員長
北高33期 武田聰



脳脊髄液減少症の治療と闘う 久保田君を励ますために!!

旭川北高野球部部員久保田圭祐君は脳脊髄液減少症という現在あまり知られていない病気と闘っております。北高野球部父母の会は、是非とも多くの方々にこの病気をわかっていただくこと、そしてこの病気の治療に（現在は保険の適用が受けられません）一刻も早く保険の適用を受けることができることを願って皆さんのお名前をお願いしております。

是非とも多くの皆様の御支援と御協力を御願いいたします。

旭川北高野球部父母の会

脳脊髄液減少症とは交通事故、スポーツ障害等、身体への強い衝撃により脳脊髄液が漏れ続け頭痛、めまい、吐き気等様々な症状がでる病気です。

私は旭川北高野球部3年久保田圭祐です。甲子園にあこがれて、小学校3年生から野球を続けてきました。スポーツによる外傷で、3度頭をぶつけました。1年生の夏に初めてぶつけた時から、2年間 頭痛を始め発熱やアレルギーの悪化、体全体の痛みや極度の疲労感に悩まされ、何度も病院に足を運びました。しかしCTやMRIでは原因が見られないというだけで体の症状は無視され、受けた診断は「異常なし」もしくは「精神病」でした。

初めのうちは体の痛みに耐えて騙しだまし学校に行ったり部活に出ていましたが、症状はどんどん悪化し2年の冬にはついに学校にも行けなくなり不登校のようになってしまいました。

体は泣くほど痛いのに、病気も親にも理解してもららず、一時は自殺も考えました。そんな中、知り合いの方から脳脊髄液減少症の署名をたのまれたことがきっかけで、この病気と道内で治療している唯一の病院のことを知りました。病名がわかり、先生より「よくこんな体で野球をしていたね」と言われたことは、「体が弱い・気持ちが弱い」と言われ続けてきた私にとって何よりの救いの言葉でした。

その後は治療も進んで、現在では元気に学校に登校できるまでになりました。しかし私のように、苦しんでいるにもかかわらず、病院がまだ知られていないために、苦しみ悩んでいる人がどれほどいるか、年間で3万人出ると言われている自殺者の内、この病気で苦しんだ方がどれほどいるかと思うと胸が痛いです。この病気は診断を受けられただけでも患者の心は救われます。

久保田圭祐君のお話より

※今年の北高祭（7月5・6日）にて、配布された要請文を転載させていただきました。